

中部地方整備局 渇水対策本部を設置します

中部地方整備局管内の直轄河川では、昨年 11 月以降の少雨により、河川の流量が少ない状態が長期にわたり断続的に発生しており、ダム等の貯水量が減少しています。

既に複数の水系で取水制限が実施されており、河川の流量減少による河川環境や取水等の水利用への影響が懸念されます。

このため、中部地方整備局では、円滑な渇水対応を進めていく体制を整えるため 1 月 15 日 9 時に渇水対策本部を設置します。

今後も節水へのご協力をお願いいたします。

1. 管内の渇水状況

中部地方整備局管内の雨量観測所における昨年 11 月以降の降水量は、一部地点を除き平年に比べ少なくなっています。特に 11 月の降水量は非常に少なく、少ない地点で平年比 20～40%でした。

河川流量の減少やダム貯水量の低下に伴い、豊川では 1 月 15 日から上水：15%、工水：20%、農水：20%とする取水制限の強化が決定され、天竜川では上水：10%、工水：20%、農水：20%の取水制限が行われています。

また、安倍川及び大井川では河川の流況が悪化しています。

※管内の河川流量・ダム貯水量等の状況については、別紙資料のとおりです。

渇水の状況は中部地方整備局のホームページに掲載（平日更新）しています。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/index.htm>

2. 管内各水系における渇水対策支部設置状況

- ・ 8 月 29 日設置 豊橋河川事務所渇水対策支部（豊川）
- ・ 11 月 18 日設置 静岡河川事務所・長島ダム管理所渇水対策支部（大井川）
- ・ 12 月 2 日設置 静岡河川事務所渇水対策支部（安倍川）
- ・ 12 月 19 日設置 浜松河川国道事務所渇水対策支部（天竜川）

3. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重第二県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、伊那記者クラブ

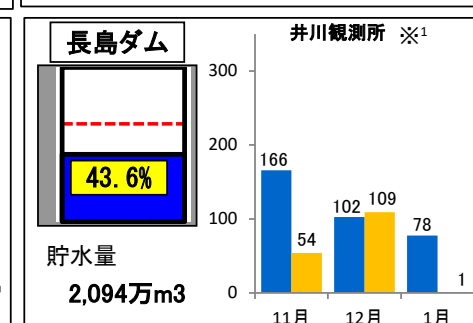
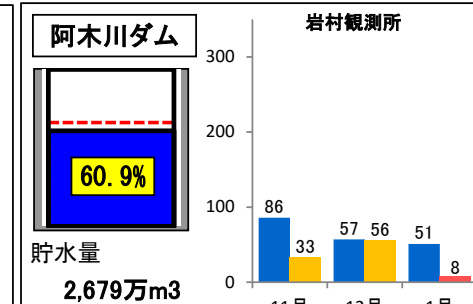
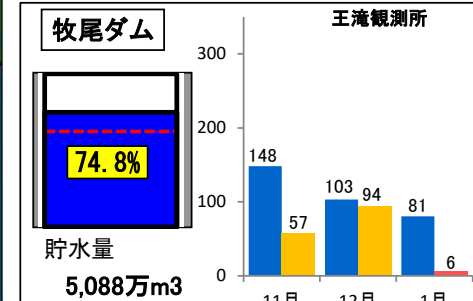
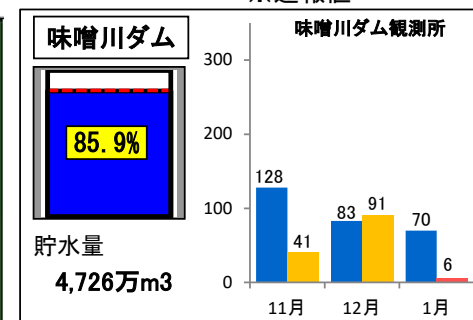
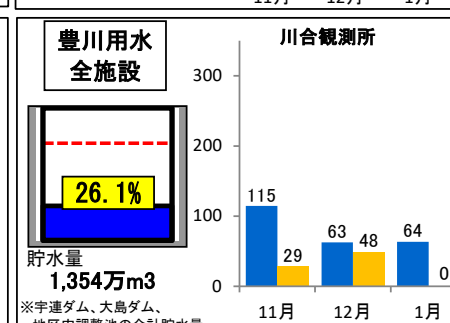
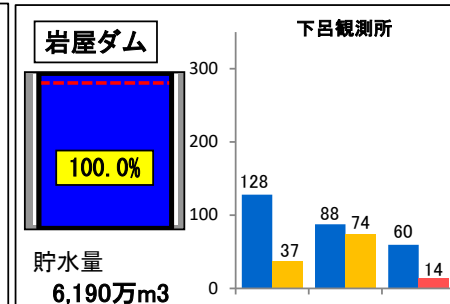
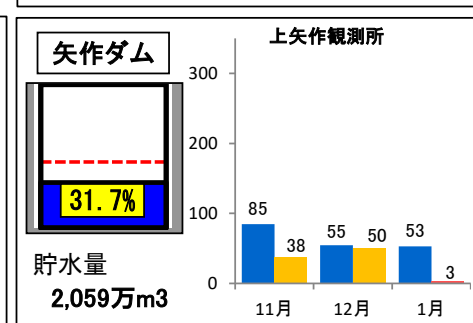
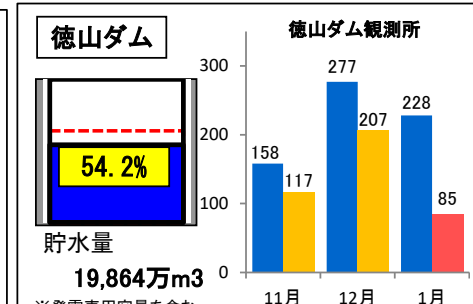
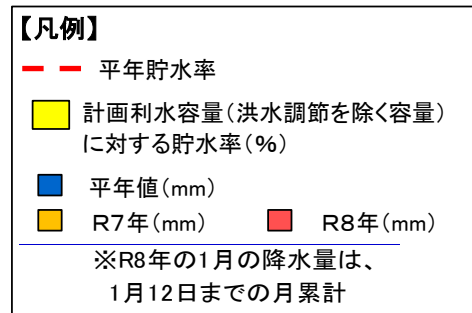
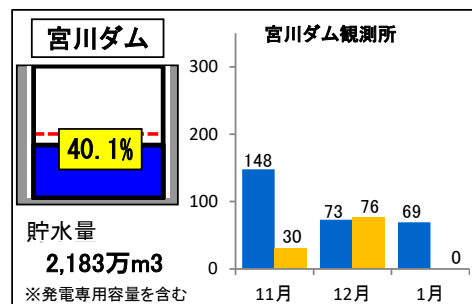
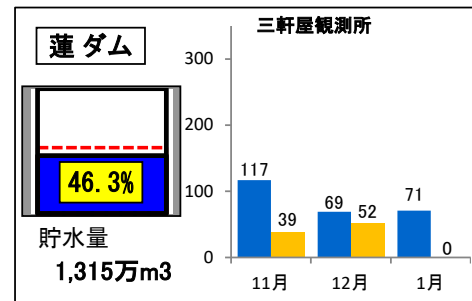
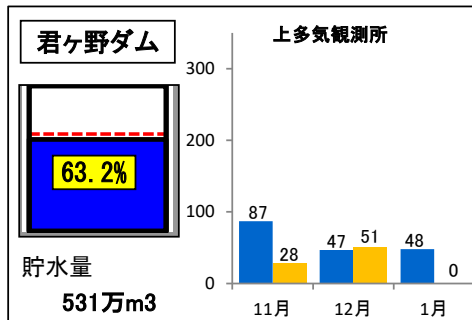
【問合せ先】

国土交通省 中部地方整備局 河川部
総合土砂管理官 岩田 伸隆
TEL 052-953-8146
河川環境課長 後藤 功次
TEL 052-953-8151

【中部地方整備局管内の水源池貯水量及び降水量(R8.1.13現在)】

※速報値

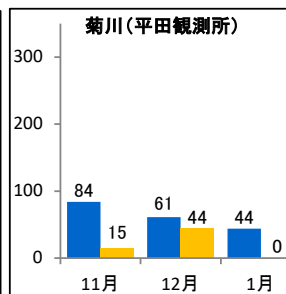
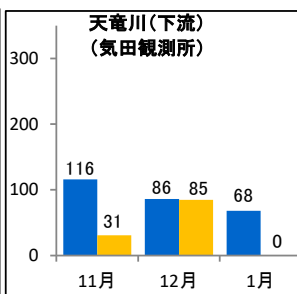
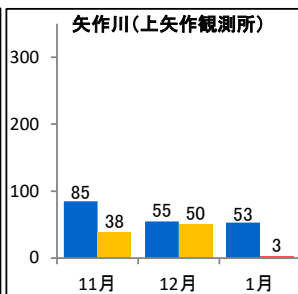
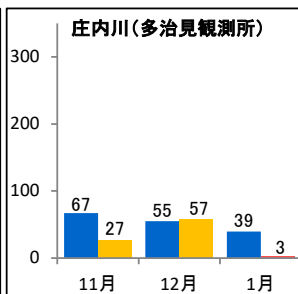
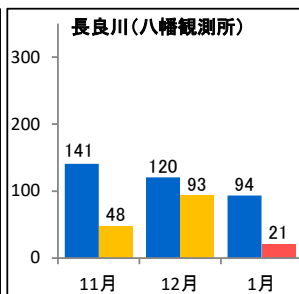
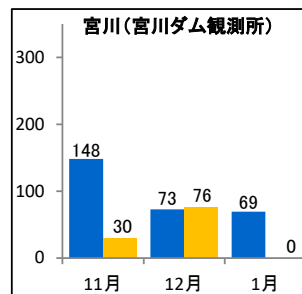
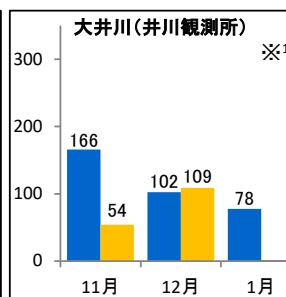
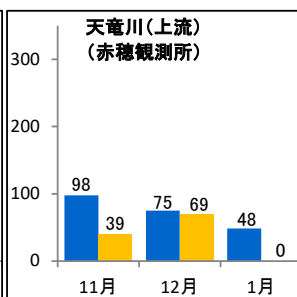
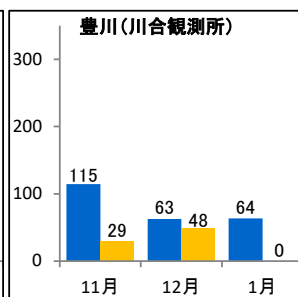
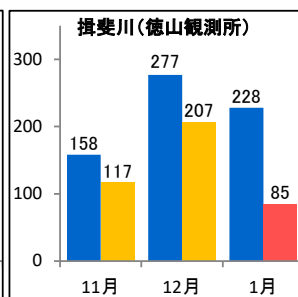
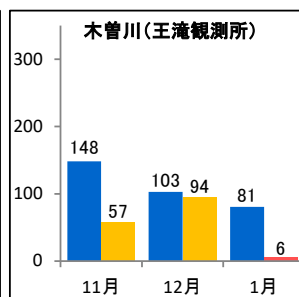
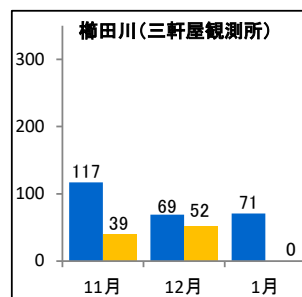
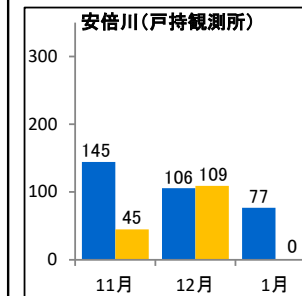
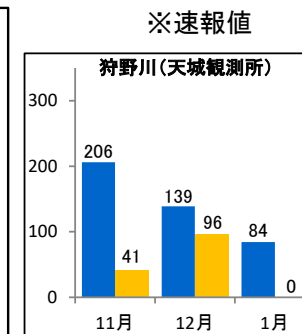
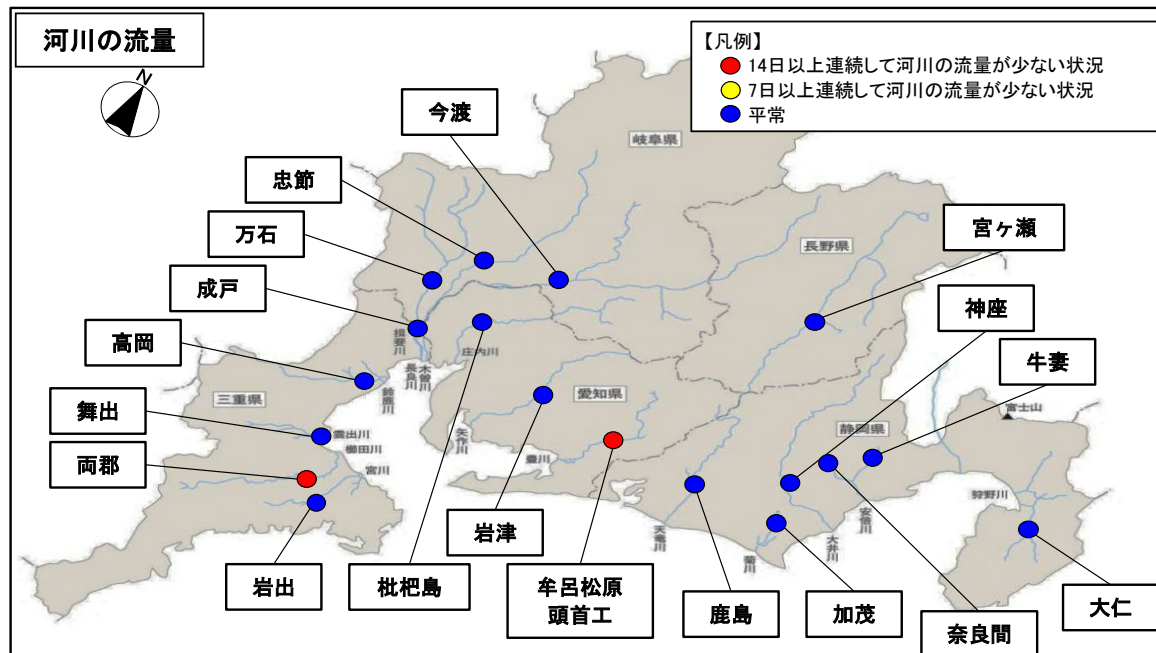
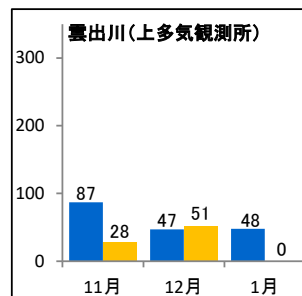
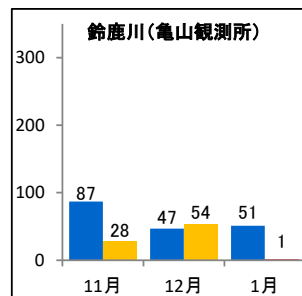
別紙



※ 貯水量は、豊川用水全施設、牧尾、岩屋、阿木川、味噌川、徳山ダムについては当日0時値。長島、矢作、君ヶ野、蓮、宮川ダムについては当日9時値。
 ※ 降水量は、豊川用水全施設、牧尾、岩屋、阿木川、味噌川、徳山ダムについては当日0時値。長島、矢作、君ヶ野、蓮、宮川ダムについては当日9時値。
 ※¹ 井川観測所のR7.12.15以降の降水量は、気象庁の井川観測所の月累計値(国土交通省所管の井川観測所が閉局のため)
 平年値については、国土交通省所管の井川観測所の値

【中部地方整備局管内の降水量及び河川の流量(R8.1.13現在)】

別紙



■ 平年値(mm) ■ R7年(mm) ■ R8年(mm)

※ 河川流量が少ない地点には、河川流量確保のためダムから補給を実施している地点を含む

※R8年1月の降水量は、1月12日までの月累計

※¹ 井川観測所のR7.12.15以降の降水量は、気象庁の井川観測所の月累計値(国土交通省所管の井川観測所が閉局のため)
平年値については、国土交通省所管の井川観測所の値